2025年12月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年８月14日

上場会社名　　アディッシュ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7093　　URL https://www.adish.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役　　（氏名）江戸　浩樹
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員財務企画本部長　（氏名）久保　芳和　TEL 03-6869-3777

半期報告書提出予定日　2025年８月14日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（決算説明の動画配信を予定しております。）

（百万円未満切捨て）

１．2025年12月期第２四半期（中間期）の連結業績（2025年１月１日～2025年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	1,783	△0.1	△28	－	△16	－	△27	－
2024年12月期中間期	1,785	1.5	△61	－	△46	－	△63	－

（注）包括利益　2025年12月期中間期　△27百万円（－%）　2024年12月期中間期　△62百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	△15.22	－
2024年12月期中間期	△36.69	－

（注）潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	1,227	439	35.2
2024年12月期	1,340	352	25.8

（参考）自己資本　2025年12月期中間期　432百万円　2024年12月期　345百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2025年12月期	－	0.00			
2025年12月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2025年12月期の連結業績予想（2025年１月１日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	3.0	50	－	60	－	50	－	35.67

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	2,002,870株	2024年12月期	1,818,360株
②　期末自己株式数	2025年12月期中間期	38,310株	2024年12月期	67,601株
③　期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	1,824,981株	2024年12月期中間期	1,722,685株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当中間決算に関する定性的情報（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）キャッシュ・フローに関する説明 …… 3
（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
（５）継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（中間連結損益計算書に関する注記） …… 8
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

１．当中間決算に関する定性的情報

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、全体として緩やかな回復基調が続いております。設備投資や雇用環境の改善が堅調に進んでいる一方、食料品等を中心とした物価上昇によって、家計への負担感が根強く残り、消費活動に影響を及ぼしています。また、米国の関税政策の影響によって、外需を中心とした日本経済への下押し圧力が強まる懸念があり、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような経済環境のもと、当社グループが注力しているカスタマーサクセスの主要顧客が属するSaaS（注）業界は、電子帳簿保存法の改定による電子データ保存の義務化や、働き方改革、デジタルマーケティングなどによる目まぐるしい時代の変化により、SaaS企業の提供するサービスは需要が拡大しており、さらには生成AIの台頭により、新たな段階へと移行してきております。日本では、2023年に1.4兆円を超える市場規模に達したといわれ、今後も引き続き成長が見込まれております。

当中間連結会計期間においては、専門領域が細分化するSaaS市場の多岐にわたる人材支援ニーズに応えるべく、フリーランス人材と企業とのマッチングを支援する株式会社クラウドワークスとの業務提携を開始いたしました。

また、コミュニケーションアプリであるDiscordに特化した、ファンコミュニティが健全に運営されるためのガイドラインの設定、投稿内容のチェックを行うDiscord運営支援サービスの提供を開始いたしております。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高1,783,529千円（前年同期比0.1%減）、営業損失△28,801千円（前年同期は△61,189千円の営業損失）、経常損失△16,149千円（前年同期は△46,156千円の経常損失）、親会社株主に帰属する中間純損失△27,779千円（前年同期は△63,213千円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

なお、当社グループはカスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（注）「SaaS」とは、「Software as a Service」の略称で、インターネット上でソフトウェアをクラウドサービスとして利用する仕組みを意味します。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は1,043,437千円となり、前連結会計年度末に比べ102,032千円減少いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産111,053千円の減少によるものであります。固定資産は184,498千円となり、前連結会計年度末に比べ10,403千円減少いたしました。これは主に有形固定資産6,093千円の減少及び投資その他の資産3,911千円の減少によるものであります。

この結果、総資産は1,227,936千円となり、前連結会計年度末に比べ112,436千円減少いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は676,729千円となり、前連結会計年度末に比べ54,912千円減少いたしました。これは主に短期借入金12,500千円、流動負債その他に含まれる契約負債32,442千円の増加及び１年内返済予定の長期借入金18,052千円、未払費用22,474千円、流動負債その他に含まれる未払金37,517千円の減少によるものであります。固定負債は112,078千円となり、前連結会計年度末に比べ144,593千円減少いたしました。これは主に長期借入金42,230千円、転換社債型新株予約権付社債100,000千円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は788,807千円となり、前連結会計年度末に比べ199,506千円減少いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は439,128千円となり、前連結会計年度末に比べ87,070千円増加いたしました。これは主に転換社債型新株予約権付社債及びストック・オプションの行使による資本金50,159千円、資本剰余金50,159千円の増加、自己株式の処分14,499千円、親会社株主に帰属する中間純損失の計上27,779千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は35.2%（前連結会計年度末は25.8%）となりました。

（３）キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は585,030千円となり、前連結会計年度末に比べ5,706千円増加いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は54,821千円（前中間連結会計期間は2,250千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前中間純損失△16,149千円、売上債権の減少額110,750千円、未払金の減少額39,604千円及び未払費用の減少額22,377千円、契約負債の増加額32,432千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,239千円（前中間連結会計期間は5,627千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,211千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は47,464千円（前中間連結会計期間は81,030千円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の純増額12,500千円、長期借入金の返済による支出60,282千円によるものであります。

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想については、2025年２月14日の「2024年12月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

（５）継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで２期連続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、当中間連結会計期間においても、営業キャッシュ・フローはプラスになったものの、引き続き営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

当社グループは、このような状況を解消するため、事業環境の変化により将来の成長を見込むことが難しいと判断した案件を徐々に縮小し、高い成長率が期待できるカスタマーサクセスや、大規模カスタマーサポート案件に経営資源を集中させ業績回復を図っております。併せて、今後の伸長を見据えた事業計画に基づき、効率的かつ効果的なコストの配分により、無駄のない事業運営を継続しております。

この結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	579,323	585,030
受取手形、売掛金及び契約資産	499,670	388,616
貯蔵品	462	1,110
その他	66,083	68,741
貸倒引当金	△70	△61
流動資産合計	1,145,470	1,043,437
固定資産		
有形固定資産	82,369	76,276
無形固定資産	3,396	2,997
投資その他の資産		
差入保証金	71,665	69,383
その他	37,470	37,528
貸倒引当金	－	△1,687
投資その他の資産合計	109,136	105,224
固定資産合計	194,902	184,498
資産合計	1,340,372	1,227,936
負債の部		
流動負債		
買掛金	49,495	51,401
短期借入金	137,500	150,000
１年内返済予定の長期借入金	94,032	75,980
未払費用	241,074	218,599
未払法人税等	5,384	12,179
その他	204,155	168,569
流動負債合計	731,642	676,729
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	100,000	－
長期借入金	154,308	112,078
退職給付に係る負債	2,363	－
固定負債合計	256,671	112,078
負債合計	988,313	788,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,240	60,159
資本剰余金	454,976	351,588
利益剰余金	△87,136	87,871
自己株式	△86,262	△71,763
株主資本合計	340,817	427,855
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,902	4,935
その他の包括利益累計額合計	4,902	4,935
新株予約権	6,338	6,338
純資産合計	352,058	439,128
負債純資産合計	1,340,372	1,227,936

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2024年１月１日 至　2024年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）
売上高	1,785,818	1,783,529
売上原価	1,290,843	1,315,489
売上総利益	494,974	468,039
販売費及び一般管理費	556,164	496,840
営業損失（△）	△61,189	△28,801
営業外収益		
受取利息	14	225
助成金収入	15,000	16,101
協賛金収入	486	－
その他	1,464	283
営業外収益合計	16,964	16,610
営業外費用		
支払利息	1,236	2,237
為替差損	672	301
支払補償費	－	929
その他	21	489
営業外費用合計	1,931	3,958
経常損失（△）	△46,156	△16,149
税金等調整前中間純損失（△）	△46,156	△16,149
法人税、住民税及び事業税	14,750	12,266
法人税等調整額	2,305	△637
法人税等合計	17,056	11,629
中間純損失（△）	△63,213	△27,779
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△63,213	△27,779

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2024年１月１日 至　2024年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）
中間純損失（△）	△63,213	△27,779
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,088	32
その他の包括利益合計	1,088	32
中間包括利益	△62,125	△27,746
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△62,125	△27,746

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2024年１月１日 至　2024年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失（△）	△46,156	△16,149
株式報酬費用	4,963	7,124
減価償却費	7,966	8,401
差入保証金償却額	1,645	1,645
貸倒引当金の増減額（△は減少）	66	1,677
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	409	－
受取利息	△14	△225
支払利息	1,236	2,237
為替差損益（△は益）	254	37
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	22,527	110,750
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,637	△1,110
仕入債務の増減額（△は減少）	10,057	1,905
未払消費税等の増減額（△は減少）	7,251	△11,601
未払金の増減額（△は減少）	△7,520	△39,604
未払費用の増減額（△は減少）	△258	△22,377
契約負債の増減額（△は減少）	27,999	32,432
その他	△24,027	△12,678
小計	2,761	62,465
利息の受取額	13	191
利息の支払額	△1,238	△2,403
法人税等の支払額	△10,884	△5,431
法人税等の還付額	11,598	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,250	54,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,631	△1,211
無形固定資産の取得による支出	△3,996	－
差入保証金の差入による支出	－	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,627	△1,239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	50,000	12,500
長期借入れによる収入	80,000	－
長期借入金の返済による支出	△48,970	△60,282
ストックオプションの行使による収入	－	318
財務活動によるキャッシュ・フロー	81,030	△47,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	555	△411
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	78,208	5,706
現金及び現金同等物の期首残高	557,215	579,323
現金及び現金同等物の中間期末残高	635,424	585,030

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結損益計算書に関する注記）

※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2024年１月１日 至　2024年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）
従業員給料及び手当	218,757千円	189,734千円
貸倒引当金繰入額	66	1,677
退職給付費用	409	―

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2024年１月１日 至　2024年６月30日）	当中間連結会計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年６月30日）
現金及び預金勘定	635,424千円	585,030千円
現金及び現金同等物	635,424	585,030

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2024年１月１日　至　2024年６月30日）

当社グループは、カスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2025年１月１日　至　2025年６月30日）

当社グループは、カスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

(1) 転換社債型新株予約権付社債の転換

転換社債型新株予約権付社債の転換に伴う新株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ50,000千円増加しております。

(2) 資本金の減少及び欠損填補

2025年３月27日開催の第11期定時株主総会の決議に基づき、2025年５月１日付で減資の効力が発生し、資本金の額49,240千円を減少し、その他資本剰余金へ振り替えております。また、その他資本剰余金202,787千円を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当しております。

(3) 自己株式の処分

2025年４月15日開催の取締役会決議に基づき、株式報酬として自己株式29,291株の処分を行ったことにより、自己株式が14,499千円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式が71,763千円となっております。

上記の結果、当中間連結会計期間末において、資本金が60,159千円、資本剰余金が351,588千円、利益剰余金が87,871千円となっております